

# 都道府県名：山口県 団体名：榎野川の源流を守る会

## 地域

榎野川の源流を守る会がご活躍されております山口市は、県のほぼ中央に位置し、室町時代には「西の京」と呼ばれ栄えた都市です。中国山地の龍門岳(標高688m)を源流とする榎野川が、市の中央を南北に流れ、山口盆地を潤し、周防灘(瀬戸内海)に注いでいます。また、都市としては珍しく、ゲンジボタルの発生地として国の天然記念物の指定を受けるなど、非常に多くの自然が残されています。

## 経歴

平成13年2月、民間業者による産業廃棄物最終処分場建設から、源流地域の自然を公有化するために、地元住民が中心となって立ち上がり、「榎野川の源流を守る会」は、設立されました。

流域の住民をはじめとして、各種団体、商店街の募金活動など、地道な努力の甲斐あって、1,300万円を超える寄付金が集まり、市はその寄付金を使って、処分場予定地を買収し「四季の森公園」として整備しました。その後、榎野川流域の環境を守り豊かにするために、榎野川流域地域通貨連携促進検討協議会を立ち上げ、地域通貨「フシノ」を発行して、行政・市民団体・協力店舗等が協働で榎野川源流域を守る活動に参画する仕組みを設けています。

※地域通貨「フシノ」は、榎野川流域を保全する様々なボランティア活動に参加した方に、感謝の気持ちとして提供する地域通貨であり、市内約40店舗で利用することができます。

## 功績内容

- ・地域通貨「フシノ」の参加者は、流通開始から今日まで23,500人を超え、水源地域の涵養・水資源の保全に大きく貢献するだけでなく、地域の活性化に寄与しています。
- ・毎年、地元自治体と連携して「四季の森公園」の草刈りを実施している他、榎野川クリーンアップキャンペーン清掃作業等、流域の保全にも尽力されています。



榎野川クリーンアップキャンペーン清掃作業



山口漁協と協働での四季の森整備



フシノ券の使用風景



フシノ券3種



榎野川での水辺の教室